

平成28年度 第1回 スポーツ推進審議会 会議録

開催日時	平成29年 1月 13日 午前10時30分から (傍聴受付 午前10時から10時15分)	
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16号会議室	
議題	1 会長、副会長の選出について 2 平成29年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について 3 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた奈良市の取組みについて 4 奈良市社会体育施設及びコミュニティスポーツ施設の整備計画について 5 その他	
出席者	委員	高橋会長、城田副会長、笠次委員、成瀬委員、野阪委員、藤原委員 【計6人出席】
	事務局	澤野井市民活動部長、松田次長 池田スポーツ振興課長、池田課長補佐 南畑係長、北森係長、阪口
開催形態	公開 (傍聴人 0人)	
決定事項	会長を高橋委員、副会長を城田委員とした。	
担当課	市民活動部 スポーツ振興課	
議事の内容		
1 会長、副会長の選出について		
2 平成29年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について		
3 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた奈良市の取組みについて		
4 奈良市社会体育施設及びコミュニティスポーツ施設の整備計画について		
5 その他		
事務局	・奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第7条第1項の規定により過半数を超えているため、会議が成立することを報告する。(委員6名全員出席)	

	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市スポーツ推進審議会会議運営要領第 2 条に基づいてこの会議を公開とする。(傍聴人は 0 人)。
澤野井市民活動部長	(挨拶)
事務局	<p>(議事進行。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の任期満了に伴い、今回委員改選。任期は平成 28 年 11 月 1 より 2 年間とする。 ・委員及び、事務局職員の紹介 <p>議事 1『会長・副会長の選出について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第 5 条に基づいて、会長及び副会長は委員の互選によってこれを定める」となっているがどうするか。
委員	前回に引続き、会長を高橋委員にお願いしてはどうか。
事務局	高橋委員に会長をと推薦があったがどうするか。
委員	(異議なしの声)
事務局	異議なしとのことなので、高橋委員に会長をお願いします。
会長	(会長から挨拶)
事務局	奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第 5 条第 3 項の規定により、議事進行を高橋会長にお願いします。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事進行を記録するための、議事録署名員の選出について会長から指名することについて委員に諮り、了承を得る。 ・笠次委員と成瀬委員の二人の委員を指名する。 <p>副会長選出についてはどうするか。</p>
委員	会長に一任したいと思う。
会長	会長一任ということで、城田委員に副会長をお願いしたい。
副会長	<p>了承・席の移動</p> <p>(副会長から挨拶)</p>
会長	議事 2『平成 29 年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について』事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>平成 29 年度の本市より補助金を交付するスポーツ団体について説明する。</p> <p><資料 1></p> <p>来年度 29 年度について、29 の団体の事業に補助金の交付を検討。</p> <p>昨年度との変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良市体育協会の補助金 100 万円の増額。 <p>これは奈良市スポーツ少年団の事業を市委託事業から同じ体育協会内のスポーツ少年団の事業として補助金へと付け替えとしたためである。</p>

	<p>・地域のスポーツ団体の補助金について（2 ページ目 9 番） 「六条小学校区」、11 番三碓の「スポーツもりもり」の 2 団体の活動が縮小と聞いており、現段階では来年度減額の方針。</p> <p>・「軟式テニス協会」姉妹都市の交流について（4 ページ目 27 番） 慶州市とのソフトテニスの交流事業は、本年度事業の日程調整の関係で実施されず、29 年度以降は、実行委員会を立ち上げて開催する調整がされている。予算要求額に対しては増額</p> <p>・「奈良市サッカー協会」オーストラリア・キャンベラ市とのサッカー交流事業について（4 ページ目 28 番） 3 年に 1 度相互交流を図っており、今回はキャンベラでの交流を予定。 この事業は後で議題とする。「東京オリンピック・パラリンピック」のホストタウンの事業の 1 つとして実施したいと考えており、200 万円を予算要求している。</p> <p>ご審議をお願いする。</p>
<p>会 長</p>	<p>この議題は、補助金要望がでていいる団体へ補助することについて審議するものである。ただいまの説明に関し、ご意見・ご質問をお願いする。</p>
<p>委 員</p>	<p>質問。2 ページの 9 番と 11 番、規模の縮小により今年には要求されないという規模縮小の理由は利用者の減少なのか、あるいは逆に運営する側の事情なのかもう少し詳しく教えていただきたい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>各団体とヒアリングを進めるなかで、地域によっては持ちまわりで会長や役を決めて活動をしている団体もあり、だんだんと参加者も少ない中で引き継いだからやっていかななくてはと、活動を自分の代で縮小・廃止出来ないと話される団体等もある。実際の活動が補助金ありきの事業になっている部分に関し、来年の事業の調整をさせていただいているところである。補助金がなくなれば事業をやめるとはおっしゃってはいないが、補助金ありきの事業にではなく、活動に対して補助をするというのが本来の形なので、予算の内示があった時点で再度調整をさせていただこうと考えている。</p>
<p>委 員</p>	<p>今の答えに関連して、これは補助金のそれぞれの予算要求額になっているが、どんなことが現場で実際に行われているかという部分が、この資料だけでは我々委員には伝わりにくい。補助金ありきでやっているところもあれば、かなりアクティブに能動的にやっているところもあるかということで、この額だけでは見えづらいので、その辺りをもう少し詳しく説明いただきたい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>全てを申し上げることは難しいが、例えば、8 番の平城西スポーツ同好会で言えば、こちらは地域のリタイヤされた 60 代から 70 代の方を中心に組織していただいております、毎月「ふれあいスポーツ大会」を開催し、地域の小学生から高</p>

	<p>齢者の方まで、すべての年代を対象に軽スポーツで皆さんの健康作りに取り組まれている。地域の社協などの広報誌に活動報告をあげて案内をし、地域の参加者を募り、地域の中で皆さんが取り組めるスポーツをと活動をされている。また、学園南の軽スポーツクラブは、年間を通してほぼ月に 2 回程度グラウンドゴルフや囲碁ボールなどの軽スポーツに取り組み、毎回 50 名程度の参加者で活動している。地域の 60 代以上の方が中心で、最高齢では 90 代の方がスポーツで健康づくりに取り組む。他にも小学生、子どもさんを中心に活動している地域のスポーツ団体もある。</p>
委 員	<p>補助金を認めるかどうかという議題からは少し外れるかもしれないが、それぞれの補助金に基づいて地域で行われている取組みを奈良市の方で紹介するようなホームページ上のものなどはあるのか。</p>
事 務 局	<p>ございません。</p>
委 員	<p>補助金を出しているというところ而言えば、奈良市が補助金を出して地域の取組みを活性化させていることを、地域によって違うかもしれないが、お金ももらって自分達がやっていることを発信したいと思われている方もいるのではないかと思う。奈良市のホームページ等で事業を紹介するような部分があれば、あるいはそれぞれの団体のホームページとリンクしたり、最近では SNS を使っているところもあるかと思うので、そういうところとリンクさせたりと、もっと地域の人達の顔が実際に見えるようにして、そこに奈良市がお金を補助していることを奈良市民にわかりやすくしたほうがモチベーションも上がる。少しの手間で出来ると思うので、是非そのあたりを検討していただきたい。</p>
事 務 局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
委 員	<p>基本的にこれは各地区単位の活動なのか。</p> <p>地区内の広報活動というのは、例えば、その地区に属する自治会単位でやっていくのか。先ほど、何か統括する組織が持ちまわりするということに関してどのような形なのか。奈良市は大きいので、この 8 団体、8 地区に分けているのではないだろうし、この中にも細かく自治会があってその自治会が持ちまわりをしているのか。</p> <p>それと予算を立てる時には、過去の実績が提示されて然るべきだと私は思っている。去年までこうでしたからこうなると、金額ではなく具体的にここではこういう活動をして、こういうところに使っていたと。活動に使うのであれば、それは自由に使っていていいと思う。少なくとも補助金がありきの活動になっているのか、大きな活動のほんの一部ではあるが役に立っているものなのかに関してはどこかで評価する。ここは予算を審議するところであり、決算を審議する場ではないので、予算と過去の実績をそれまでの他の事業のようにある程度分かりやすく。少しこれでは分かりにくいので、提示していただくようなことも審議にあってはいいと思う。</p> <p>先ほど笠次委員が言われたように、それぞれの地区がどのような活動をしてい</p>

	<p>るのか、他の地区にも分かるようにすると、うちの地区もやってみようと活性化に役立つと思う。そういうところに奈良市が積極的に介入していったほうが奈良市全体の活動のアップに繋がっていくのではないかと。活動はアップしていくに越したことはなく、そういう補助を考えていってはいかがだろうか。</p>
会 長	<p>建設的なご意見ありがとうございます。</p>
委 員	<p>4 ページ目の 8 番、全体の予算の中で 200 万円の計上だが、昨年一昨年は 0 と、これは具体的に派遣する企画がなかったということでもいいのか。</p>
事 務 局	<p>3 年に 1 度相互交流の事業をされており、前回は 26 年度で、キャンベラの方から受け入れをして交流大会を開催し、奈良市からも補助事業とさせていただいている。</p>
委 員	<p>3 年に 1 回、計上されているのか。</p>
事 務 局	<p>はい。3 年に 1 回相互訪問という形で、26 年度は奈良市に来ていただいた。</p>
会 長	<p>他に何か。</p>
委 員	<p>27 番の事業は、今年度から実行委員会を作つてということだが、組織された段階で実行委員会はどのように考えているのか。</p>
事 務 局	<p>実行委員会の方は、スポンサー的なものや参加者のほうから負担をお求めになって、補助事業という形ではなく自主事業としてされると。</p>
委 員	<p>基本的にその事業の一部に市の方の補助を依頼してくる可能性は、ほぼないということなのか。</p>
事 務 局	<p>ないです。</p>
会 長	<p>貴重なご意見をいただいた。 今朝、「スポーツもりもり」について、インターネットで検索してみたが、そこには活動内容がアップされている。やはりそうしたものを一括するような、奈良市ではこんなふうに行っていると分かるものがあればいいと思う。</p>
委 員	<p>そう思う。個々の頑張りがどうしてもそこだけで留まってしまふ。せつかなので奈良市でこんなことをやっていますよと相互に繋がるようにしておくこと分かり易い。</p>
会 長	<p>また実績については、次回に資料があればいいということだった。</p>
事 務 局	<p>今補助金は、過去の実績も色々あって、かなり縮小されていっている。スポーツ振興と補助金の縮小が相反するところであり、スポーツ振興をするためにはもっと補助金を出さないといけないのではないかとのご意見も当たり前のことだが、財政が非常に厳しい中で縮小されていっているのが現実問題である。その反面、自立されている団体もあり、各団体で補助金なしで運営されているところも結構出てきている。奈良市の主催事業と各地域で行ってられる事業、又それぞれの団体で行ってられる事業など色々な事業がスポーツ活動にはあり、奈良市が主催しているような事業については委託料などの形でさせていただいている。それもなかなか十分な費用が予算要求してもおりにこないという状況のなかで、今後補助金・委託費を含めて、スポーツ振興をしてスポーツを</p>

	<p>広めていく活動を活発にしていくためにはどうすればいいのか、これからの課題であり、委員の方々からのご意見をいただければと思っている。</p>
会 長	<p>少ない予算のなかで、いかに有効にそれを活用していくか。</p> <p>他に意見はないか、なければ スポーツ団体に対する補助金の交付は、妥当適切であると認め次へうつる。</p> <p>議題 3 「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた奈良市の取組みについて」 事務局、説明願います。</p>
事 務 局	<p>本市のオリンピックに向けての取組みについて。 3 年半後に迫る、東京オリンピック・パラリンピックについて、奈良市としてどのような協力ができるのか、ご説明をさせていただく。</p> <p>資料「ホストタウンの推進について」 「ホストタウン」という取組みを奈良市ではしている。</p> <p>・「ホストタウン」とは、 2020 年の大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な交互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げるといふ国の内閣官房の事業である。 参加国との交流として、奈良市はオーストラリアと交流するという申請を行い、昨年 6 月に登録された。以後の説明は、対オーストラリアという風に考えていただきたい。奈良市としては、オーストラリア女子サッカー代表の事前キャンプ誘致を軸にホストタウン事業を進めていきたいと考えている。</p> <p>・「事業のイメージ」 事業イメージについて、1 つ目はオリンピックとの交流。2 つ目は、オーストラリアの方々との交流、スポーツだけではなく歴史や文化の交流などが挙げられる。特に奈良市はキャンベラと姉妹都市であることから、キャンベラとの交流を軸に考えている。3 つ目はパラリンピアンとの交流である。 交流計画については、後ほど説明させていただく。</p> <p>・「地方財政の措置について」 ホストタウン事業と認められる事業については、経費の 2 分の 1 が国の特別交付税措置となる。また、キャンプ誘致に関連する施設の整備費用も対象で</p>

	<p>ある。</p> <p>・「ホストタウンの登録状況について」</p> <p>昨年 12 月現在、奈良市を含め、186 の団体が、63 の国と地域を相手国としてホストタウンの登録している。</p> <p>オーストラリアを登録とする団体は 7 つ。奈良市の他に、網走市、京丹後市、大阪市、神戸市、和歌山市、高知県。</p> <p>既にホストタウンとして活動を行っている市町村もあり、スポーツだけではなく、様々な活動が行われている。</p> <p>交流の内容として、奈良市は具体的にどのような活動をしていくのか。</p> <p>資料「奈良市におけるホストタウンの構想について」</p> <p>まず、オリンピックの日程は、2020 年 7 月 24 日（金）に開会式が行われる予定。オリンピックは 8 月 9 日まで、パラリンピックが 8 月 25 日～9 月 6 日までとなっている。その間選手だけでも約 1 万 5～6000 人が日本に来る見通しである。</p> <p>次に、奈良市としてのホストタウンの構成組織図をご覧いただきたい。現段階では、オリンピックということでスポーツ振興課がとりまとめをしているが、各事業を見ていただくと、観光・観光客における経済・共同ボランティア・障がい者さん・学校・子どもたちの関係と幅広く、オール奈良市として今後取り組む形になっていくと考えている。</p> <p>その中での、スポーツ振興課での主な取組みについて。</p> <p>取組み案一つ目が、事前キャンプの誘致。</p> <p>昨年 2 月にオーストラリアの女子サッカーナショナルチームがキャンプを行った。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>リオデジャネイロオリンピックのアジア最終予選が大阪で行われ、なでしこは敗退したが、オーストラリアはトップで通過した。そのキャンプ誘致を 1 週間、鴻ノ池陸上競技場でさせていただいた。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>次に、日本人オリンピック、パラリンピアンを招いてのスポーツ交流や講演会交流することによって、東京だけではなくこの奈良においてもオリンピックへの機運を高め、子どもたちに夢や希望を与えるということである。</p> <p>それから姉妹都市キャンベラとのスポーツ交流、中高生のスポーツ交流のスポーツ交流、補助金にあったように選手との交流をしていく。地元大学と連携し、意見交換会・シンポジウムなどを開催する。2020 年に向けてどういったことができるのか考え、また学生等を活用したボランティア育成に取り組んでいくことを今は考えている。</p>

	<p>最後が、奈良市交流計画の概要になっている。これは既にオリンピック組織委員会に奈良市が提出したものである。次年度、奈良市に何ができるかは予算の関係があるので、「これをする」ということは断言できないが、イメージ的にはこのような取り組みをすることによって奈良市でオリンピックの情勢を踏んでいきたい。</p> <p>以上です。よろしくお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。何かご意見・ご質問はないか。</p> <p>では、基本的なところで、オーストラリアの女子サッカーが予選を勝ち抜いてオリンピックに出られるようになった場合、必ず奈良でキャンプをしてくれる運びになっているのか。</p>
事 務 局	<p>現時点ではまだ3年あるので、確約はもらっていない。ただ日本で言う「験がいい」と、奈良も候補のうちの一つということである。これはホストタウンとして奈良県で取りまとめているのだが、県と連携して、昨年11月に奈良県の方がオーストラリアにホストタウンの誘致ということで話をしに行かれ、そこでかなり奈良市のPRをしていただいた。また我々奈良市としても大阪にある総領事館であるとか、現地に赴くことも考えており、引き続き誘致、来ていただけるように活動を続けていこうと考えている。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。他によろしいか。</p>
委 員	<p>1つは、4ページの地元大学と連携し、意見交換会・シンポジウム開催というところで、もう何か具体的に考えているのか、あるいはまだこれからなのか教えていただきたい。</p>
事 務 局	<p>まだ何もしていないのが現状である。昨年、奈良女子大学でシンポジウムを開催されたと思うが、そこで高橋先生をお見かけしてメール等でやり取りをさせていただいた。近くなれば、来年度以降、再来年度でも予算の関係もあるが、学生さんには色んな意見を出していただけたらと思うし、若い力も必要だと思っている。そういったことが出来ればと今後また委員の先生方にもご協力していただけたところがあるかと思うので、その際はよろしくお願いします。</p>
委 員	<p>あの体育学会の公開シンポジウムに参加していたのか。</p>
事 務 局	<p>はい。私と池田が参加した。</p>
委 員	<p>それではおそらく何が大事か分かると思うが、「スポーツを支える」というのもおもしろいということをもっと市民に発信すべきだと思う。私は「スポーツを支える」ということがとてもおもしろくて実際にしているわけだが。色んな立場での「スポーツを支える」という部分の醍醐味というのが、あのシンポジウムの中で出てきたキーワードで、自分が支えるということが、選手にとってその場でどれだけ力を発揮するのに役に立ったかということ。奈良マラソンが良い例だ。奈良マラソンが、ランナーに非常に人気の高い大会になっているの</p>

	<p>は、色々な立場のマラソンを支える人たちの思いが選手に伝わり、また選手の有難いという思いが我々スタッフに伝わる、その選手の声が届くのがとても大事なのである。あのシンポジウムのキーワードは多分そこだったと思う。トップ選手たちの声が直接支える立場の人たちに届く、という部分をトップ選手の招致にも利用すればいいと思う。何かよくわからないところでやっているというのではなくて目の前の自分達が関わった選手が力を発揮してくれる、そのパフォーマンスを観るのが我々もおもしろく、そこに価値を見出している。そういうのもっと色々な世代の市民に発信していくべきだし、その中の一つに学校現場にどう関わるか、学校における教育活動にもそれを繋げていけると思う。東京は今そういう部分で学校にふんだんな予算を使い、オリパラの普及事業としてトップ選手を呼んで、学校現場で実際にこういう競技をやっているかなど簡単な教室でどんどんやっている。それはお膝元なのでお金があるからできるのだと思うが。我々にはお金をかけなくてもやれることが沢山ある。</p>
会 長	<p>オリンピック競技、パラリンピック競技についてその重要性が叫ばれている。奈良女子大学ではかなりオリンピック・パラリンピックに向けて力を入れてシンポジウムをされているが。</p>
委 員	<p>はい。昨年度からオリンピックシンポジウムを継続的に開いているが、まだ具体的な FACE to FACE のところまではまだ準備はしていないと思う。</p>
委 員	<p>是非そういうところを繋げていただければ。理念と実際の部分が繋がると多分おもしろい。単に手伝う、ボランティアをするところの楽しさも勿論あるが、その奥にスポーツの価値や理念がどう繋がるのかを色々なタイミングで市民の皆さんにおろしていければ、絶対に長い目で見れば必ず子ども達の根っこの部分に響くはずである。5年10年かかったらプラスに作用してくるはずだ。単に目の前のオリンピックのためだけではない。これを利用してどうするかを考えていきたい。私は奈良マラソンを利用してどうするかを常に考えている。</p>
委 員	<p>補足的になるが、ホストタウンの構成組織図は大変すばらしい。こういう風に発展していくと本当に活性化するバラ色のプランだと思う。なぜ相手をオーストラリアにするかというのは、既に奈良市が長いお付き合いで、特にキャンベラとお付き合いがあるということで妥当であろうということだが。例えば、あがっているサッカーやラグビーというのは、表現はよくないかもしれないが、種目は1つのツールで、その先にあるスポーツの本質などを市民の皆さんが理解されて生涯に渡ってスポーツをする契機になればいいと思った。言い変えると種目に特化していくとこけた時に怖いかと、上がってこられなかった時にどうかという思いが少し浮かんだ。</p>
委 員	<p>穴井選手のコメントがネットに流れているが、「報われない努力はあるけど、無駄な努力はない」という、穴井選手が言うからすごく価値がある。あの言葉をもっと色々な人に知って欲しい。努力が報われないからといってもうやめ</p>

	<p>てしまうのではなく、穴井選手が言うからすごく重い、響くものがある。ああいうものはレベルに関わらず、種目にも関わらない。スポーツの根っこの部分にも繋がってくるものなのかなと思うので。すごく分かり易い言葉だと思う。</p>
会 長	<p>パラリンピック関係の見通しはまだこれからというところか。</p>
事 務 局	<p>昨年だが、人権課のほうで成田真由美さん（車椅子水泳）の応援をしている。うちがまだ登録をする前の話だったので、ここには組み入れてなかったが、人権課でそういった応援の取組みをされていたということもあり、組織図にはないが、障がい福祉課もそうだが、スポーツ関係で来年再来年以降に応援ができないかと考えている。社会福祉協議会やサン・アビリティ奈良の体育館で車椅子バスケットとかが盛んに行われているので、そういったところで協力してオリンピック、パラピアンを誘致できればと思っている。今はまだ全くというのが現状。</p>
委 員	<p>今のパラに関連してだが、私の後輩で奈良県立医大の整形外科で小児整形外科をやっている藤井という医師がいる。小児整形外科で骨腫瘍を専門にしている。切断手などにせざるを得ないところから障がい者のスポーツドクターの資格を取った。実は県の方に必要であれば呼んでくださいと何度も打診したが、奈良県が全く活かしきれてない。私はトライアスロンの競技団体のメディカル委員長とアンチ・ドーピングの委員をしていてパラの対策プロジェクトのメンバーにも入っている。申し訳ないが奈良がそんな状況なので、トライアスロンの競技団体の方で『クラシファイヤー』という、障がい者はカテゴリーを分けられないといけないのだが、どのカテゴリーに入るのかを決める医師でないとできないよりテクニカルなレベルの高い資格を取ってもらうように打診をしているところだ。奈良に活動の場がないのであればトライアスロンの方で頼むから動いてくれと。トライアスロンの方で動いてもらおうとしているのだが、本来彼はトライアスロンで云々というよりも、そうやって自分の骨腫瘍などが原因で切断せざるを得なかった子ども達の生きがいの部分の中で障がい者スポーツに関心を持っている。競技の枠を乗り越えてそういう思いを持っている。何とか障がい者に自分の生きがいを持って欲しいという思いでスポーツドクターの資格も取ってとやっている人間なので、なんとかそういった先生の思いを実現できるような場所があれば有難いと思う。実際そういう先生たちが出てきている。多分現場の人がそれを知らないで活かしきれてない。術後の患者さんとか、色んな障がい者スポーツが今あると思うが、そこを紹介出来る場所があれば、そういったマッチングの部分なども含めて繋がっていただければ。パラリンピックのトップレベルとは別で・・・そこも繋げてもいいと思う。長い目でみて、その先生もまだ非常に若く 40 代そこそこ。本当にこれからの奈良の障がい者、特に切断手の方たちを支えていく立場の先生である。是非うまく繋がっていただきたい。</p>

<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。 何かその他コメントがあれば。</p>
<p>委 員</p>	<p>先ほどの地元大学と連携し意見交換会・シンポジウムの話で、一昨年の 9 月に講堂でシンポジウムを行い、半分強制的にですが大学生、中等の生徒が沢山きてくれた。大人では考えつかないような意見を沢山言ってくれたので、出来るだけそのような年代層に参加するチャンスを作って来てもらいたいと思った。その辺の取組みを。大学生は 4 年後には就職しているし、中・高校生くらいが 4 年後に、自分たちはできるとすごく思っていると思うので。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。私もあそこへ参加して覚えている。 では、続いて議題の 4 番目にうつる。「奈良市社会体育施設及びコミュニティスポーツ施設の整備計画について」であります。では、説明をお願いします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>「奈良市社会体育施設及びコミュニティスポーツ施設の整備計画について」説明させていただく。スポーツ施設の整備計画だが、特に鴻ノ池運動公園については、これからも市民のスポーツ活動の中心であること、競技会場として対応力を向上させることに力を入れて、同時に多くの市民が気軽に散歩やレジャーを楽しめる場として賑わい化、または長寿命化に取り組んでいる。鴻ノ池運動公園は、昭和 46 年に開設になり既に 45 年が経過している。利用者のニーズも多様化しており、公園施設の再整備が急務となっている。現在は公園緑地課と連携してスポーツ施設と同時に公園の維持管理にも努めている。平成 28 年度においては、運動公園全体的な構想であるとか現況を調査して、中央駐車場の拡幅工事を実施した。中央体育館をはじめスポーツ施設についても耐震化はクリアできているが老朽化が進み、競技に支障がないよう修繕、維持管理に取り組んでいる。中央体育館のトイレの改修、舞台のそでの 2 か所の男女トイレの洋便化、2 階のエントランス脇のトイレの洋便化行った。次に 29 年度の予定であるが、体育施設の整備計画については陸上競技場の第一種公認検定の更新を行う予定にしている。第一種公認検定の更新は 5 年ごとに行い、県内で唯一の第一種公認陸上競技場の役割を果たすべく施設の修繕等の整備、備品類の更新を行う。それから旧青年の家交楽館を、今解体撤去を行う予定にしている。これは昭和 51 年健全な青年育成の図るために鴻ノ池公園内に開設されたが、平成 15 年ぐらいから施設の老朽化に伴い宿泊できない状態になり平成 23 年には廃止という結論となった。駐車場の不足を補うためにもこの場所を活用できないかと取り組んでいきたいと思う。もう一つが、利用者から公園内に売店や飲食店を求める声が多く寄せられていることである。公園の周辺には数か所飲食店やコンビニエンスストアは存在しているが、公園内として現在利用者のニーズに対応できていない状況である。これに業者及びスポーツ施設の利用者等が公園を利用する際に利便性を感じることができるとの場の提供をする目的として、第一駐車場、信号を入れてすぐの場所であるが、商業施設の出店、起業運営する業者</p>

	<p>の誘致を進めている。</p> <p>次に、鴻ノ池運動公園の愛称命名権を募集するネーミングライツを実施した。命名権は奈良電力株式会社、御所市が本社である。平成 28 年 10 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 4 年半、命名権料は年間で 1000 万円、初年度は半年で 500 万円。運動公園の愛称としては「奈良電力鴻ノ池パーク」とした。公園に加え、球技場、体育館の 9 施設にも愛称をつけていただいた。ネーミングライツは施設の管理運営を賄うための安定的な財源の確保の維持管理で持続可能な運営と共に民間企業の共同によって施設の魅力の向上、地域の活性化等を図ることを目指している。次に鴻ノ池ではなく、別に西部生涯スポーツセンターと総合福祉センターの 2 か所に温水プールがある。兼ねてより経年劣化が見られており、西部生涯スポーツセンターでは空調など劣化が著しく見られる。現在は両方とも温水の水温管理は正常に行われているが、今後やはり長期的な施設運営、改修、新築を考えていく必要があると思っている。以上です。</p>
委 員	それでは何かご意見、ご質問をうかがいたい。
委 員	まず 1 点、西部のスポーツセンターの近隣に商業施設が今沢山できてきたように思うが、それに伴って前の部分も工事がずっと進んでいる。あれは西部のスポーツセンターの自体の工事は何かしているのか。私はてっきりあそこもやっているのかと思っていたのだが。
事 務 局	駐車場の一部を県道の拡幅工事に伴い削る工事が行われていた。本体のそのものの工事ではなく県道の拡幅に伴う工事で、中の体育館などそういった工事は今行っていない。
委 員	ちょうどあそこは商業施設が沢山できてきて今までとは、ガラッと様相が変わり、非常にアクセスもしやすい場所、高速を降りてすぐのところである。そういうことを考えると、そこをもっと利用してチームを組んで考えても良いくらいではないか。周辺の商業施設とも、公的な部分なのでどこまでタイアップできるか分からないが、要は家族で一日スポーツもして、買い物にも行く。お母さんは買い物に行く、子ども達は体を動かすとか、そういう家族で出かけて一日何かして過ごす。せっかくお金をかけなくても商業施設を作ってくれているのだから、もっとそれをアピールするべきだと思う。生駒の山麓公園に行くと体を動かすしかないし、私は買い物へ行きたいというお母さんの要望を満たすことができないが、(ここには) せっかくホームセンターもある。この間、西ノ京高校へ行く際に、これはすごいなど。駐車場もあれだけ沢山あるのだから。こんなことを言うと商業施設に怒られるが、あれを利用しない手はない。なので優先順位を考えて予算も限られているだろうから、優先順位を考える時に特にあそこはもう少し利用できるという部分で手厚くしてもいいのではないかと思う。
委 員	ああいうのは地域の施設という感じがある。そういう意味ではあの周辺はあまり人口集中地区ではない。商業施設はできたが、あそこに人が集まっているか

	<p>というとなんか、一日いる場所ではない。スーパーマーケットが二軒できたぐらいだから。郊外型のアウトレットがきたとか、大きいイオンモールで一日いられる施設ではないので、そこまでは厳しい。今県道の工事が終わるまで非常にアクセスしにくい。駐車場の出入りがしにくい。工事はいつまでかかるのか。</p>
事務局	<p>取り敢えず間に供用をかけるまでなので、まだもう少しかかると聞いている。</p>
委員	<p>あそこをずっと工事をしていて、ここは逆に駐車場が入りにくくなっているなと毎日思っている。それに、暗い。</p>
委員	<p>そう思う。確かに施設自体が暗い。私も利用していて感じる。</p>
委員	<p>特にこういう施設は、夜の需要がやはり。 私が大阪で勤務していた時、大阪市、東大阪などは街のど真ん中であって、9時、10時でも利用しやすい環境になっている。街中ということもあるが。そこまであの地区に求めるのは無理なのだが、もう少し地域が安全に利用できる環境を考えた方がいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>今の西部の稼働率は非常に高いが、今課長も説明したように、非常に老朽化していることもある。特にプール棟については緊急性を要するようなところもあるが、予算的にもそこまでまわってないのが現実だ。将来的には西部は活かせる場所であり、スポーツクラブとしても活用できるようなところなのかなと考えている。特にプールもあるジムもあり体育館もあると、色んな複合的な施設が入っている。大規模ではないが、民間の活力も利用するのも1つの方法なのかと考え、来年度あたりからそのような計画の検討に入ろうというところで、また委員の皆様方のその辺の方向性、ご意見をいただかなければならない機会があると思っている。</p>
委員	<p>ファミリー公園は奈良県ですか。</p>
委員	<p>ファミリー公園は奈良県の方ですね。</p>
委員	<p>あれは完全に民間に任せてかなり様相が変わってしまった。ああいうのも検討されてもいいかなと思う。来年度は取り敢えず工事などに対して出てくる大きな予算は計画されてないのか。</p>
事務局	<p>来年度検討しながら、どうするのかという方向性を決めて行きたいと考えているところだ。来年度予算には間に合わず、優先順位からいえば、ホストタウン計画もあり、鴻ノ池周辺も荒れ放題で、昭和59年の国体以来公園整備に入っていないので、そこを優先させていただく。その次の段階として西部を考えており、またご意見いただければと思う。</p>
会長	<p>鴻ノ池の方は、指定管理が入っているのか。</p>

事務局	<p>今はまだ指定管理の継続期間中で、屋外施設については、ご存じのようにキタイ設計・長谷川体育施設。屋内施設については、奈良市総合財団と鴻ノ池と分かれており、西部とそれ以外の奈良市の体育施設全部は奈良市総合財団が管理している。その指定管理とは別に整備は奈良市がやっていかないといけないだろうと。その計画に鴻ノ池は入っており、2月ぐらいから工事に入る予定である。</p> <p>運動公園そのものの工事に入る予定で、体育施設もまだまだ老朽化している施設が鴻ノ池にはあるので、特にその辺も含めて計画を来年度予算にもあげており、それを一つの方向として考え、次の段階として西部をと考えている。特に西部はあのような立地条件なので、民間の活力もなんとか利用していきたいと考えている。また良いアイデア、方向性ができれば、そういうご意見も伺いたい。</p>
会長	ネーミングライツでの年間1000万円は全てスポーツ関係の方で使われているのか。
事務局	一般財源に入っているので、直接的にスポーツの方に1000万円流すということではなくて1000万円以上の予算がスポーツ整備計画の中には投入されているので、当然そのお金も獲得されているという考え方である。
会長	分かりました。
委員	<p>鴻ノ池のグラウンドでいうと、ご存じのとおり、隣接する旧奈良県奈良刑務所が廃止されて観光施設になるのか。民間に委託してホテルか何か作ると聞いている。奈良刑務所がこの3月で閉鎖になる。その後、ホテルかなにか、民間に委託し改修して奈良監獄を歴史的な場所にして、あそこを観光化する。真裏ですよ。あそこのグラウンドを使えなくなるのはかなり痛いと思うが。その辺もスポーツ関連と何か提携できないか是非考えていただけたらと思う。あそこが宿泊施設になる、いいと思う。でも観光施設なので、スポーツとして結びつけるのであればどうしてもそのへんを、例えば最近流行りのジョギングをしやすいようにアクセス道をするとか、色々考えないといけない。夜中に来てあんなところ走れないから。例えば早朝など走りたいときに、特に海外からも来るのであればそういう需要の高いところに整備計画を今後考えていっても良いのではないのかと思う。</p>
委員	そうですか。
委員	この3月でついに廃止だ。もったいないが、刑務所ではなくてホテルかなにか商業利用にすると。
委員	奈良マラソンの時いいね。あそこにホテルができれば。
委員	いいが、あのグラウンドはもしかしたら使えなくなる。
委員	それは事務局がどうにかされるだろう。
	<p>では、今話が鴻ノ池にいられているのでこちらの質問だが、以前に体育館を改修・建て替えなどという話が、ずいぶん昔、計画の中で一度があったと思う。奈良市・バンビシャスとかも含めてだが、空調をやりかえたとうかがったが、</p>

	今後どのような見通しなのか、具体的な案でなくてもいいので教えていただきたい。
事務局	まず、空調、クーラー関係の整備をして、昨年度トイレも整備をした。この状況で県のアリーナ構想というものがあるのだが、その関係はまだ見えていない。
委員	やはりまだ見えていないのか。
事務局	見えていない。今の体育館は大事に利用する予定にしている。
事務局	以前整備させていただいたのは、10年間は延命しようということで先生方にも申し上げたと思う。整備をさせていただいて、今課長が申したように県にアリーナ構想があって、それが奈良市にくることになり大きなアリーナは県が建てるというのであれば、奈良市は市民レベルの考え方で中央体育館をどうしようかという考え方が出てくるであろうし、また一方でそのアリーナが違うところに、南部に行くとするれば、奈良市でやっぱりアリーナが必要だと考えた時には新築のアリーナをという考え方がでてくるであろうし、県のアリーナ構想も含めてこれから検討していかなければいけないと思う。
委員	県がまだはっきりしていないから、市としても動けない。
事務局	その陸上競技場にしても、1種公認というのはここだけしかなく、奈良マラソンの拠点でもある。鴻ノ池という場所は、奈良県のスポーツのメッカといえ、南部ではこの施設がないので、これを奈良市だけで維持管理をされていて、これからどういう整備していくかというのは、奈良市だけの負担ではなく、やはり県との協力、県からのバックアップ等、経済的支援も民間の力も含め、この鴻ノ池をどうしていくか、これからの課題だと思う。また機会があれば、県へご意見をお願いしたい。
委員	もう一つ。西部は利用率が非常に高いとおっしゃっていたが、これ以上さらに来ていただかなくても良いのか、休日の利用率などはどうか。
事務局	今、朝9時から夜9時までの営業である。条例で定めている休みの日もあり、営業時間も9時で終わり。勤務形態から言えば、9時以降に来られる方はスポーツクラブだと結構あり、本当は11時とか12時まで営業できるような営業時間の拡大など、もっともっと利用してもらうにはどうすればいいのか、幅を広げれば利用者の数も増えてくるしニーズも変わってくると思うが、今の利用時間と供用日の範囲の中では殆ど飽和状態である。
委員	飽和状態。休日も含めてか。
事務局	はい。特に休日は多い。
委員	休日は今でも既に多いとのこと。ではさっき言ったように私が利用の仕方などアピールすると、もう施設としては困るのか。
事務局	体育館利用の抽選でいうと、インターネットの抽選になるのだが、土日、一つの枠の中に200団体ぐらいのエントリーが入る。西部には2面とれるフロア、アリーナがあるが、一般開放している2面取れるアリーナが西部しかなくなってきている。というのが、中央体育館は広いが、昨日、体育館の一年間の調整

	<p>会議があったが、ほぼ土日は大会で埋まっている状況。土日に体育館を利用したいと一般の方がなられた場合は、西部が一番広い体育館となる。今皆さん、インターネットで各団体のIDを取っていただきエントリーをかけるのだが、150、200というのはざらにある。その抽選に当たってやっと使えるということになる。</p>
委 員	<p>逆にジムの利用率はどうか。</p>
事 務 局	<p>多い。</p>
委 員	<p>わかりました。</p>
事 務 局	<p>ジムの場合は、個人利用なので個人でほとんど利用されている。</p>
委 員	<p>要は、我々が学校現場や一般の人達に、休日の利用の仕方の提案としてさっきのような私のアイデアをいうと、西部としては困るのであれば敢えて言わない。いろんなニーズがあると思うが、そのあたりはどうか。</p>
事 務 局	<p>マシンなどがもう古い。できた時に入れたマシンそのままなので、20年前のマシンを使っているのが近代的なマシンが入っていない。本当はマシンも入れ替えていろんなトレーニング機器を整備していく必要があるが、そこまでなかなかお金がまわらない。</p>
委 員	<p>なるほど。奈良市スポーツ推進審議会、推進計画という形で市民の運動できる機会をどんどんアピールしていくと考えた時に、費用対効果の部分でどこにお金を配分するのがより市民にとって利用しやすいかというのが、お話を聞いていると個人よりも団体にある。団体さんも競争率が高いことになっているのだと思うが個人利用という部分がこれからは多いと思うので、そこのユーザーも大事してあげるような施策を考えていただきたいと思う。</p>
会 長	<p>他よろしいか。 では、最後に議事の5、その他について、事務局の方から願います。</p>
事 務 局	<p>郵送で送らせていただいた承諾書とマイナンバーのほうを提出いただければと思います。宜しくお願いします。</p>
会 長	<p>では本日の会議は、これをもちまして閉じさせていただきます。ありがとうございました。</p>
事 務 局	<p>本日は、大変お忙しいところ、ご出席を賜り、貴重なご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。 委員の皆様にはいただきましたご意見を、施策の実施に反映させていただき、今後一層スポーツの推進に取り組んでまいりたいと思っております。 本日は、ありがとうございました。</p>
	<p>【資料1】平成29年度スポーツ団体からの補助要望一覧表 【資料2】2020東京オリンピック・パラリンピック 奈良市におけるホストタウン構想について(案)</p>